

1987.12.31 発行

郵便振替.小機1-570.加入者名 あごら札幌

NO. 107	あごら札幌連絡先	今月通信担当
	細田英理子 ☎ 644-2927	後藤晶子 細田英理子

— 今月のなかみ —

12月例会報告	1	どうしたの'88年	6-7
「性と生」の感想	2-3	1月例会案内	6
編集に關する	4-5	情報	8

○ 1年. 例会の場所が定まる

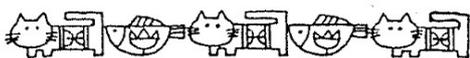
12月例会も. 始めのころ. 喫茶「タイム」で行われた。住所と電話番号を通信に載せただけで. 全員. 迷いませ. 来られたのだから. みよさん. 御立派!!

3つのテーマについて. 話し合った。

1. 年頭に決めた役割分担の反省と来年に向けて
2. 例会のテーマ. 持ち方について "
3. 通信のあり方について "

Ⅱについて. 「地から見. 連絡先=代表のわかれことも多々ある。そろそろ連絡先を換えてほしい」に対し「自営業なので困る」「ほとんど留守番電話でもかまわなければ? やりかた...」以前やっていた. もうやらなくてもいいんじゃないかと。もう1年. 細田英理子さん=押しつけてしまった。来年こそ. 有力な次世代が現れる魅力的な会にしよう. ということになった。

他の役割と担当者は次のとおり。



1987年反省会 & 来年に向けて

● 会計 & 名簿係  
(会員納入状況の把握. 名簿管理)

萩野京子  
Tel 882-0211

補佐 松平明美  
Tel 782-3338

◆ 資料整理 (札幌通信, Lシマ. 各拠点通信等のファイル) 伊藤初江  
Tel. 883-1062

◆ 本会計 細田英理子. Tel. 644-2927

◆ 新聞案内 (例会案内と各新聞社へハガキを出す)

Ⅲについて.  
「前半の例会予定は戻ったか? 後半は. 行きあたりぼったりで. 計画小生かまかつて2度. 例会を集会参加に振り替えたか? 参加しはたしてはたか. 前後の話し合いもつとすへま」「例会にあつたから. 自発的に参加しはたかようて集会にも参加して. 知らな世界を知り. きっかけとあつてよかつて」... 「前味噌にたか. 札幌担当の月刊はよかつて」「リフとては目新しもない. 小生の甲のレゾカ. 小生教育にしまつてあかつてのよかつてか」

12月 例会 報告

「もと普通の人たちもリアにあるほい。そういう面でも、有名でもなむむむ、人たちが、性についてオープンに語れてよかったと思う」……月刊の感想、大募集!! 聞き書きでも何でもいしから載せていっ。という次になった。来年、何をしたいかは、個人々人、あいらしげに紙上に発表の予定。

3.について

十分に話しあえなかつたが「原稿は執筆者が最終的に責任をもつので原則としてそのまま載せる、ただし批判しあつていく姿勢は持ちたいね」という話になった。

またその月の通信担当者は「今日の内容をどうするか」を例会時に議題にして、だいたいの紙面割りをし、作成会議の日程も決める。会計と連絡をとりながら発送まで責任をもつ。またレイアウト用紙やペン、封筒などがなくなつたら補充し、責任をもつてその通信作成用一式」を次の担当者に渡す



一月刊あこり122号

# 性生, を読んだ 感想

「生と性……」を読んで、ふと思ひだした  
出来ごとを書きます。 く東ゆかこ

銭湯で、7才の娘が大きな声で「血、止まった?」って聞いてきました。「終わったよ」と軽くうければいいのに「何?」って聞いなおしたら、更に大きな声をはりあげて「ほら、赤ぢんできなかつた時出るしょ、この前おふろに来た時血でるからいれてたしょ」タンポンのこと言つてたんですね。そういえばこの前生理中で銭湯に入る前聞かれたり、話してたんだっけ。でも回りに数人、人がいたもんで思わず「もう少し小さい声で言つてくんない」って、なんと小声で言つてしまいました。胃袋っていうと、恥ずかしくないし、フニイキ想像できるのに子宮っていうと立体感とかない感じで、もっと親しく大切にしていあげたいと思つていたのに、実践場面では、ついマイナーなあつかいをしてしまう。反省!! 性教育は、伝えるほうの知識だけじゃなく、生き方をもちろ返すから大変です。命の問題だし、く人間らしさも問うし。今度はテーマをいぼつてとんどん深めていって下さい。買春観光、じゃはゆきさんのこととか、もっと知りたいです。



# 「月刊あじら122号」を讀んで

Jean

振り返ると僕も、僕達の世代の多くの仲間達も 15年前に ウーマン・リブの洗礼を受けた。その結果ホリシヤや シヤカイモの羞、こうがしと上手くなるようになった。簡単は裁ほうや 挿除、洗たくも他の人の手とかりすに出来るようになったけれど、女の人と向きあう姿勢が僕自身の生と性のなかでどれ程変化してのかわかっている。 「月刊あじら」を讀むとの感想と求められたのと契機に困難な検証の間に踏み込もうと決意したのは、今回は短文という事なのでそこの格闘は載せられない。



女の人達の独自の闘いとフェミニズムという呼び名が今も主流を占めている。ウーマン・リブとの違いは表面的なものかもしれないが 大きいと想っている。後者は社会の在り方と自分への否定と基礎にして激しい社会・自己変革の緊張の渦中におり、待つという感が強かった。それに対して前者は中々の持ち方が多い。自分とその周辺と中心としたなかでの生と性の意識化から自立と当然の前提として女の人達の主体形成に重きが置かれていたと感じた。

僕の問題の把握や提議は意識化の位相をぐり抜けないと不可能と考えているので徹底した意識化(認識)の作業は必要にちがいないと想うけれどその後、自らの主張の展開と現実の中でどうするかという試練が待って受けていると、男も女も含めた人間の生と性は徹底した意識化との并立で直面せざるを得ない問題がどうにも気にはなってしまう。

これは15年前も持っていた事であって「月刊あじら」を讀んでも精進なかった。

## 編集しました。性と生。

あじらミニに載った「愛のかたち」、Y子には「奥村さんって過激なのね」とちびり認めてもらえていたけれど、私としては冷汗もので、特に最後の一文など、かっこつける為につけ足した下心がミエミエで、ちびりマズイ心境です。丁君は、日頃の私の言行とあまりに違ふので、ホーゼンとしたのでしょうか。感想文と求めたら、こそ真面目な一文とくれました。意識化という言葉と、どう行動していくのかという処が残りまして、あの「愛のかたち」と書いていきさつというのはこういう事ですよ。性を取っ上



# 今年のホープ。です。

あごら  
どうしたい'88年

札幌あごらの活動の場は、リア  
理論を学ぶ場というより、むしろ、実際の生  
活の場で社会の中の「女」について考える場にすべき  
ではないかと思う。札幌あごらに参加している人々は、  
心の中から、湧きでる何かに対して、何かをしたい人々の集ま  
りではないかと思う。その何かを具体的にリアという目標へ進む  
一歩にするために、すべきことを考えたい。

私は「女と政治」というテーマをこの一年間の札幌あごらの行動  
テーマとしていきたい。今、政治は危険な時代に入っているとわ  
ざるをえない。それは秘密法・教育・天皇 etc. なにをとっても戦  
前の日本を思わせる政府の動きが見えるからである。

「女性政治家に話を聞く会」「男性政治家にもの言う会」  
「教育と政治」「自衛隊って？」などより具体的に会  
を持つようにしたいと思います。

—— '88年の目標  
----- リアと政治をしたい ——

伊藤初江



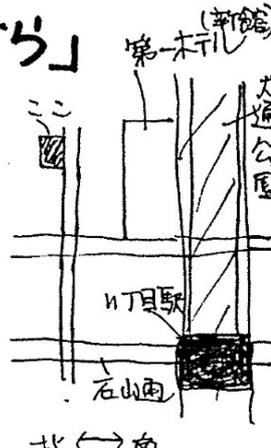


1月  
例会  
案内

## 「どうしたい'88年—あごら」

一年のだいたいの計画をたてたい  
と思います。また忘年会&反省会の時に  
十分話しあえなかつたことも話し合う  
予定です。

- 1月9日(土)
- 全統一事務所にて(261-2801)  
北1西9北海道ビジネスビル4F



第一ホテル(新館)  
大通公園  
Watarai 駅  
石山町  
北←→南

通信を出し  
ているあじろグループ  
は全国でも3つか4つとか、  
札幌は大したものだ。これだけ  
は守ってゆこう。せめて年一回は  
外部の人を加えるイベントをやりた  
いか、テーマが今は思いつかない。  
息長く続ける事は苦しい事、来  
年あたりお楽しみに力を入  
れてみようかしら。

盛生

2月に昨年  
出来なかった、古典  
文学における女性差別  
をレポートいたします。自  
分自身の勉強にもなるの  
で何回かはレポート役を  
やってみたいと思って  
おります。

荻野

弘前に行っ  
ても、新しい女の友  
人をどんどんつくて、  
自前のネットワークを  
つくていこうと思っ  
ます。

後藤

いろいろな生き方をしている  
女達が気軽に参加できて、情報  
交換できる場ができればいいなど  
思う。

そして、そんな女達をなかめながら、自  
分の置かれている状況を整理し、主体的  
な生き方を模索しながら、お互いを育  
つ場も確保できればいいとも思  
う。

松子

紐々ながら  
でも通信は出し  
続けていきたい  
なーと思ってます。

細田

## 返事がきました

105号に「拝啓小田実様」を書き、彼に通信を送った。  
彼は、ほとんど家に居ないような気がし、又、お連れ合い(同行者)  
にも読んでもらいたく、連名で出したところ、彼女(玄順恵エン)から  
でいいな お返事といただいた。お手紙からは小田氏が日  
常的に子育てをしているのか、弱者を彼自身が実感しているのかはわからなかった。  
小田氏に対し、偏見があったなーと反省しつつ、彼女が読むことを勧めた  
「ベルリン日録」を読んでみよう、と思っている。

7か11ヨシエ



# 1. 砂澤ビッキ 版画カレンダー

「ピリカモシリ'88」  
美しい 大地

アイヌ民族の自然観 — 人間と自然の共存に学ぼうと。

反核・反原発全道住民会議が、ビッキさんの二枚組版画とカレンダーにしました。「歌連は緑に向かへ走る」「樹間を走る歌連」。益金は来月5月の泊原谷の燃料棒搬入阻止などの活動資金に使われます。二枚組1000円(送料200円)

連絡先：ミニコミ喫茶 ひらひら 北区N18W5 (746-2801) <sup>新住</sup> 小樽1-5924

# 2. 伊藤ルイさんと囲む会 — 共に生きる喜びを —

日時：1月21日 PM6:00~

会場：札幌市民会館 (中央区大通西1)

参加費：1,000円

主催：'88えびらん探険隊

問い合わせ：喫茶「りんごの木」 tel 011-704-5447

伊藤ルイさんは '22年伊藤野枝さんと大杉栄さんの4女として誕生。「主義者の子」として人間性と失せぬ政治にさらされてきました。ルイさんは最近になつてから発言を始め、反原発、救援活動にヒリ組んでいます。40年以上も闘ってきたルイさんの心と動かしだしたものは何に?とてし。九州から来下っています。ぜひ多数御参加と……

<本誌27号> いま平和を支えよう — に。

「伊藤野枝のこと」という講演がのっています。

「……身の周りにそういうふうなことが起こって、きました時に、手とまねいて見て、いないで、フーフー

小は、ことども濃くかという気構えが、たけ

れは、戦争への道と私たち自身が

歩んでしまうのではないかと……」

女の暦もありません  
と、あゆませはりんごの木へ  
¥1,200-

- 冬眠から目覚めると編集をやっていたこの数日、ぐっすり眠ったし、たのしんでレイアウトしたし、これから少しお勉強します(S)
- 編集の道具(ん?)もバッチリそろえて楽しみながらやりました。(えりこ)

## 編集後記